

日産財団ニュースレター (第17号)

2015年11月発行



ひとを育て、未来に夢を...

はじめに

日産財団では、理科教育助成対象校の1年目の活動状況を把握するため学校訪問を実施しています。それぞれの学校の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

栃木県 下野市立 石橋北小学校

◆ 2014年度助成校の活動紹介 (2015年10月に訪問した7校)

福島県 いわき市立 小名浜第一小学校



外部講師を招いての研究授業(算数と理科)、理科はてこのはたらきで、つりあっている棒の一方を曲げるとどちらに傾くかとその理由を考える

3年1組
「じしゃくのふしぎ」
の校内
研究授業



タブレットを使って校内にあるものの画像を収集し、磁石につくかどうかクイズ形式で討議し、その共通性を発表

福島県 須賀川市立 白方小学校



5年生の流れる水のはたらきの公開授業研究会、前時で調べたことを、タブレットを使って各グループで討議

福岡県 福岡市立 笹丘小学校



小学校理科研究大会会場校として、6学年理科の「水よう液の性質」の学習では、炭酸水にとけているものは何かを予想し、気体検知管やろうそくで二酸化炭素であることを確認し、科学的な思考力を高めた。

福岡県 福岡市立 香椎小学校



5年「ふりこの動き」の授業。1往復1秒のふりこのおもちゃを作るため、竹ひご・糸・紙のふりこの長さ、粘土・磁石・鉄球の錘の重さと、ふり幅を変えて影響を調べる実験をグループ別に分担して行い、意見交流後、考えを発表

福島県 福島市立 岡山小学校



6年の理科授業:てこのはたらきで、「いろいろな形の棒でも、てこのきまりは成立するのか」を実験

神奈川県 横須賀市小学校理科研究会



横須賀市立野比小学校で開催された第37回神奈川県小学校理科教育研究大会(横須賀地区大会): 全体会、分科会、全学年で生活科/理科の公開授業、研究協議会、パネルディスカッションが行われ、参加者も多く盛況であった。